

## 2026年3月期 決算の概要

### 1. 経営成績

- (1) 当社は『新中期経営計画2025』で掲げた高付加価値事業への転換を図る事業ポートフォリオ改革の実行を通じた基盤事業の収益力強化に取り組みました。また、サプライチェーン全体の効率化を目的とする「ものづくり大改革」の継続的推進や生産設備の統廃合・集約化に取り組む「生産設備改革」の推進等にも注力いたしました。
- (2) 連結売上高は、高吸水性樹脂事業からの撤退や安価な中国製品との競争激化の影響などにより、前期比143億円減（同10.1%減）の1,278億円となりました。
- (3) 利益面では、半導体分野の好調に加え、上記事業撤退による収益性改善やサプライチェーン全体の効率化などにより、連結営業利益は前期比15.6億円増（同18.6%増）の100.0億円となりました。また、連結経常利益は持分法投資損益が大幅に悪化(▲6.0億円)したものの為替差損益(13.5億円)等により前期比25.8億円増（同26.7%増）の122.5億円となりました。

親会社株主に帰属する当期純利益は、当社の連結子会社であったSDPグローバル株式会社の吸収合併に伴い、同社より引き継いだ税務上の繰越欠損金及び将来減算一時差異等について、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、法人税等及び法人税等調整額を含む税金費用（益）を計上したことなどにより前期比114.8億円増（同276.6%増）の156.3億円となりました。

なお、高吸水性樹脂事業からの撤退に伴う事業構造改革費用は当期は減損損失等で4.2億円（2023年度からの累計額は138億円）を計上しました。来期以降で計上予定の10数億円を含め、総額では150億円程度に収まる見通しであります。

（単位：億円）

	連 結			
	’25年3月期	’26年3月期	前期比	
			増減	伸び率(%)
売 上 高	1,422	1,278	△ 143	△ 10.1
営 業 利 益	84.3	100.0	15.6	18.6
営 業 利 益 率 (%)	5.9	7.8	1.8	30.4
経 常 利 益	96.7	122.5	25.8	26.7
親会社株主に帰属する当期純利益	41.5	156.3	114.8	276.6
R O E (%)	3.0	10.6	7.6ポイント	250.8
R O I C (%)	4.8	10.6	5.8ポイント	122.2

### 2. セグメント別連結売上高

（単位：億円）

	’25年3月期		’26年3月期		前期比	
	売上高	構成比(%)	売上高	構成比(%)	増減	伸び率(%)
生活・健康産業関連	306	21.6	175	13.8	△ 131	△ 42.8
石油・輸送機産業関連	492	34.6	483	37.8	△ 9	△ 1.8
プラスチック・繊維産業関連	268	18.9	265	20.7	△ 3	△ 1.2
情報・電気電子産業関連	209	14.7	225	17.6	16	7.7
環境・住設産業関連他	145	10.2	129	10.1	△ 16	△ 11.3
合 計	1,422	100.0	1,278	100.0	△ 143	△ 10.1

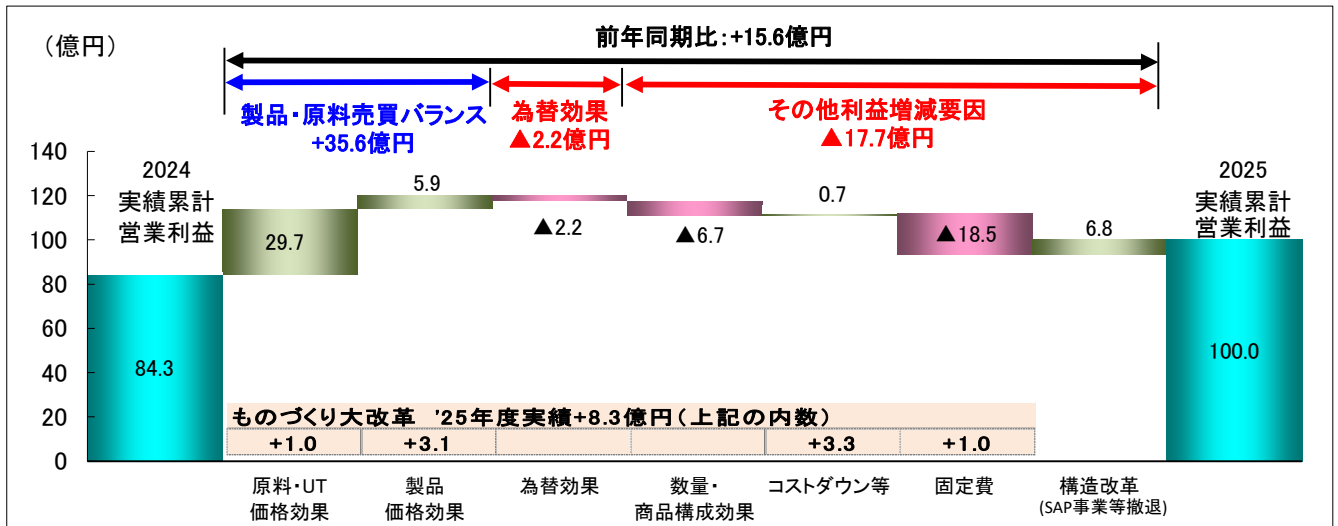
### 3. セグメント別連結営業利益

（単位：億円）

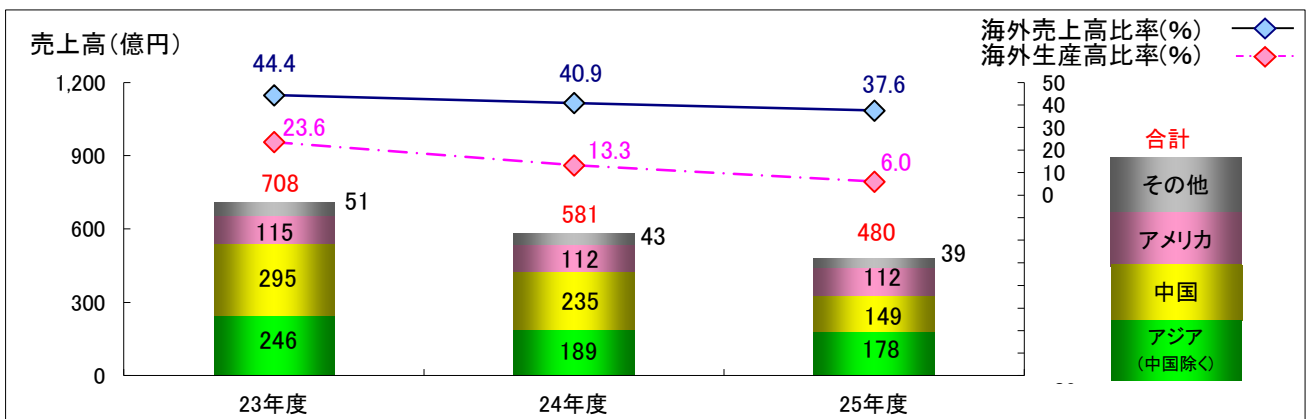
	’25年3月期	’26年3月期	前期比	
			増減	伸び率(%)
生活・健康産業関連	1.7	△ 1.6	△ 3.4	—
石油・輸送機産業関連	39.7	56.2	16.4	41.4
プラスチック・繊維産業関連	28.6	24.3	△ 4.3	△ 15.0
情報・電気電子産業関連	25.3	35.9	10.6	42.0
環境・住設産業関連他	0.0	△ 1.2	△ 1.2	—
全 社 費 用 ( ※ )	△ 11.2	△ 13.6	△ 2.3	—
合 計	84.3	100.0	15.6	18.6

※全社費用は、各報告セグメントに帰属しない新規事業に係る研究開発費です。

#### 4. 連結営業利益の増減分析（前年同期比）



#### 5. 連結海外売上高の推移



#### 6. 配当の状況

2026年3月期の期末配当は、1株当たり85円（年間170円）とする予定であります。また、次期の中間配当および期末配当については、長期的かつ安定的な配当の維持・向上を目的として、配当方針を原則累進配当に変更いたしましたので、これに伴い、年間で1株当たり5円増配しそれぞれ87.5円（年間175円）を予定しております。

	1株当たり配当金(円)			配当性向 (連結)
	中間	期末	年間	
2023年3月期	85.0	85.0	170.0	66.0%
2024年3月期	85.0	85.0	170.0	-
2025年3月期	85.0	85.0	170.0	90.5%
2026年3月期	85.0	85.0	170.0	24.0%
2027年3月期(予想)	87.5	87.5	175.0	43.0%

## 7. 2027年3月期業績予想（連結）

2027年3月期の連結業績については、中東情勢の緊迫化により原料調達や販売数量等への影響が発生する可能性があります。現段階では状況が流動的であり、合理的な影響を把握することは困難であるため、業績見通しには織り込んでいません。一方、売上高は、原材料価格上昇分の価格転嫁などを織り込むことで1,500億円(前期比17.3%増)となる見込みです。また、営業利益は、構造改革や高付加価値製品の拡販による増益効果が見込まれるものの、成長事業への先行投資に伴う費用増等もあり、前期並みの100億円(前期比0.1%減)を見込んでおります。経常利益は、為替差益の減少などにより115億円(前期比6.2%減)、当期純利益は、税金費用減少の影響がなくなることなどにより90億円(前期比42.4%減)を予想しております。

(単位：億円)

	'27年3月期	前期比	
		増減	伸び率(%)
売上高	1,500	222	17.3
営業利益	100	△0	△0.1
営業利益率(%)	6.7	△1.1ポイント	△14.4
経常利益	115	△8	△6.2
親会社株主に帰属する当期純利益	90	△66	△42.4
ROE(%)	5.7%	△4.9ポイント	△46.2
ROIC(%)	4.7%	△5.9ポイント	△55.7

<業績予想の前提条件>

為替レート：155円/\$、国産ナフサ価格：115千円/KL

## 8. 主な設備投資と減価償却費

### (1) 設備投資額（検収ベース）、減価償却費の推移

(単位：億円)

	連 結	
	'26年3月期	'27年3月期 (予定)
設備投資額	62	102
減価償却費	89	86

### (2) 主な設備投資（検収ベース）

(単位：億円)

投資アイテム	稼働時期	総投資額	'27年	'28年
			3月期	3月期以降
三洋化成工業株式会社	ウレタン製品製造設備	4.8	4.8	-
	微生物発酵・精製設備	10.6	1.3	9.3